

厳しい環境条件下におけるサンゴ礁の面的保全・回復技術開発実証事業

【令和6年度予算概算決定額 150(150)百万円】

<対策のポイント>

漁場環境の保全の観点から、大規模に衰退したサンゴの効率的・効果的な保全・回復を図るため、**サンゴ礁の面的な保全・回復技術の開発・実証**を行い、**事業展開に向けた計画・実施手法を早急に確立すること**を目指します。

<政策目標>

実証海域における**サンゴ幼生の着床率**を10%以上とする [令和7年度まで]

<事業の内容>

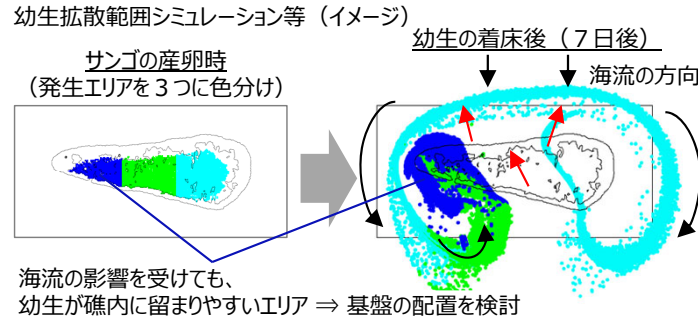
<事業イメージ>

1. 沖ノ鳥島海域でのサンゴ礁への幼生供給力を高める面的な保全・回復技術の開発・実証

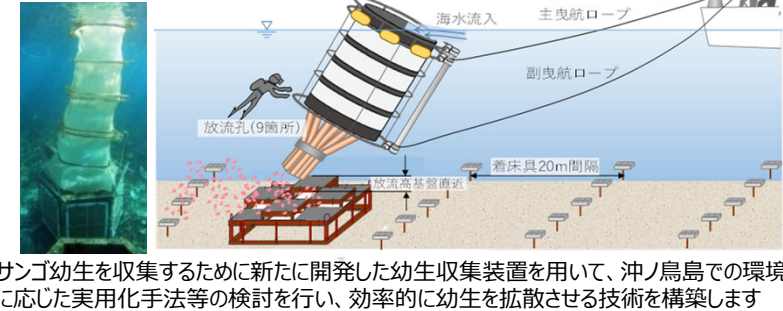
1. 沖ノ鳥島海域でのサンゴ礁への幼生供給力を高める面的な保全・回復技術の開発・実証

- これまで開発に取り組んできた浮遊幼生の移動特性を踏まえた**効果的な基盤の配置手法**や**サンゴ幼生供給規模を拡大する技術**及び**サンゴ幼生着床・育成基盤と着床率を向上させる技術**を沖ノ鳥島海域において実証し、必要な改良を行います。
- 沖ノ鳥島海域において定点観測による**サンゴのモニタリング等による環境調査**を行います。

●浮遊幼生の移動特性を踏まえた効果的な基盤の配置手法の開発・実証



大規模幼生拡散技術の構築

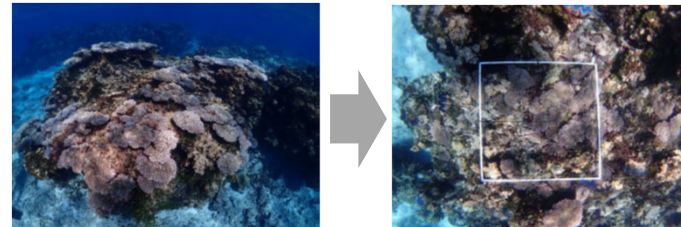


2. 海洋環境等変化に順応できるサンゴ開発

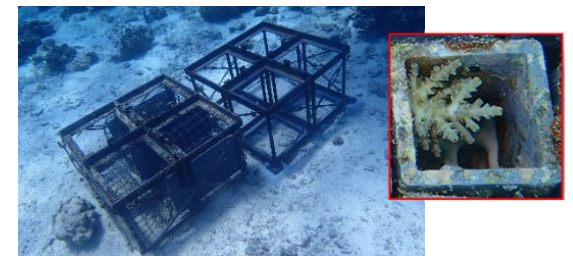
2. 海洋環境等変化に順応できるサンゴ開発

- 遺伝的に高温耐性を有するサンゴの**種苗生産技術**を開発します。

●サンゴのモニタリング等による環境調査



サンゴ幼生着床・育成基盤の開発・実証



<事業の流れ>



●遺伝的に高温耐性を持つサンゴを判別・生産する技術の開発



[お問い合わせ先] 水産庁整備課 (03-6744-2390)